

天文台まつり 2025

さらさんの「星座」2025年5・6月号の原稿に基づく観望会の部分の文章と画像です。

2月1日、2日に天文台まつりが開催されました。同好会メンバーがたくさん写真を撮影されたので写真で振り返りたいと思います。まずは朝9:30より玄関前での太陽観望会。雪の心配はない予報で青空もみられるのですが太陽のところに雲がわいています。



望遠鏡の準備はできているのですが開店休業です。



11時ごろになって雲がとれはじめて太陽が見えるようになりお客さんを迎えて太陽観望会フル稼働。



電子観望 Seestar 使いの中1小6コンビも大忙しです。



IT3さんの手作りプリズム実験装置も大好評！

ホワイトボードを使いながら Makoto さんの H α 太陽望遠鏡で見えるプロミネンス、ダークフィラメントを説明。



ホワイトボードにはMくん画伯の意味不明な模様も！？



云々さんの投影版には子供が手を入れられない工夫が。

そのほかにもmaeさん、miyaさんなど多くのメンバーに望遠鏡を出していただき大盛況となりました。

そしてこの日は白昼の三日月による土星食が13時ごろにありました。肉眼ではかなり難しいですが双眼鏡で三日月や金星は確認できました。しかしながら土星は25cmニュートンの眼視でも屈折望遠鏡による電子観望でも全くわかりません。



諦めて白昼の三日月と金星を観望。

そして夜の観望会スタート。月、土星、金星、木星、火星、スバル、オリオンとみんな次々導入していきます。



1日目はこれにて終了。2日目も太陽は顔を出してくれて2日連続で太陽観望会をできたとのこと。